



能登半島被災地で見た ともに歩む教会の姿



イエズス会司祭

森 晃太郎

みなさんは、シノドスの歩みを通し神様が望んでいる教会がどのような姿だと考えるでしょうか。この歩みは、人々との交わりの中で自分の思いもよらない出来事の内にも、自分の思いや考えを遥かに超えた神様の恵みに与ることを意味するよう思う。司祭叙階の恵みを受け初めての聖週間まさか自分が能登半島の被災地で迎えるとは思ってもみなかった。だからだろうか、能登半島の被災地で過ごした日々は、自分の思いや考えの内にある司祭としての歩みを遥かに超えるこれからの教会の姿を神様が示してくださっているかのようにであった。

2024年1月1日、心新たに新年を迎え、お正月気分浸っていた。しかしその気持ちが一気に冷めるのを感じた。能登半島で地震。2024年という年に、何か嫌な空気が漂うのを感じたの

は私だけだろうか。人生で一度も訪れたことのない能登半島でありながら、何か心が揺れる。まるで自分が呼ばれているかのように、能登半島の被災地を思い日々祈っていた。震災から約1カ月が経った2月上旬、片岡義博神父（名古屋教区／カリタスのとサポートセンター長）からの突然の電話だった。それから数日後の2月15日、四旬節の始まりと共に能登半島の地に足を踏み入れた。2023年に参加したWYDリスボン大会。その移動中のバスで隣となり、「また日本に帰国して会える機会があるといいですね」と言葉を交わし、そこから金沢駅で再会するまでに半年もかからなかった。「まさかこんなに早く再会するとは思ってもみなかったですね」と互いに言葉を交わした。

合計三度、能登半島を訪れ、サポートセンターの手伝いや被災地の視察、ボランティア受け入れのためのベイス立ち上げの手伝い、瓦礫撤去作業やじんのび食堂（地元の方に食事と憩いの場を提供する活動）の手伝いなどに励んだ。そこで、被災地の現場で指揮を取り、社会福祉協議会とのやり取りやボランティアの受け入れ、瓦礫撤去作業や水支援に尽力する元田勝哉神父（フランスシスコ会／OFM）と出会った。互いに初めて会ったにもかかわらず、周囲の人は口をそろえて「兄弟みたいですね」と言った。それは、見た目によるものなのか信仰によるものなのかわからないが、とても大切な出会いとなった。活動中も、東京に戻り活動報告をする中でも、互いが互いの役割をわかっているかのように、違うあり方でボランティア活動に携わり、違う角度から活動報告するにもかかわらず、そこに福音的な響き合いがあり、活動や報告がより豊かになっていくのを感じた。

三度目に能登半島を訪れたのは、3月の終わり聖週間の時期であった。聖木曜日は、互いに足を洗い合う中で仕え合う姿の内に、イエスが弟子たちに伝えたかった愛を分かち合った。聖金曜日は、苦しみの内に歩む十字架のイエスと共に、瓦礫撤去作業に従事し、瓦礫置き場に

運ばれてくる1つの物に被災地の人々を思い被災地に身を置いた。そして迎えた復活

徹夜祭。能登半島の中でも特に被害の大きかった輪島市にある幼稚園のホールをお借りし、名古屋教区松浦悟郎司教主司式

のもと輪島教会、七尾教会、羽咋教会合同で執り行われた。光の祭儀では、それぞれの教会の思いと共に灯された復活ろうそくを片岡神父、元田神父、私の3人が持ち、ひび割れた大地の上に立つた。小さく燃える火は、なかなか希望を抱けない状況にありながらも、私たちが何を信じ生きて行けばいいのかを示しているかのように力強く燃えていた。

片岡神父、元田神父をはじめ被災地で多くの司祭や修道者、信徒の方々や未信者の方々とお出会った。その1人1人との出会いは、まるでこれからの教会がどのように歩めばいいのかを示しているかのように、人々との交わりの中に共におられる神様の導きの中で互いをより豊かにしていった。これからの教会が、互いの思いや考えを遥かに超えた神様の恵みの内に共に歩んでいくことができますように。

+++++

カリタスのとサポートセンターの災害支援活動の報告は、「のとせんブログ」でご覧いただけます。
<https://notosen.blogspot.com/>
支援募金、ボランティアも継続中です。



左から元田神父、森神父、片岡神父



聖三木図書館おすすめキリスト教書10選

キリスト教系ウェブマガジン『AMOR——陽だまりの丘』の特集「私のお薦め「キリスト教書」に、当館が寄稿した記事を抜粋して掲載します。

本の詳細や全文は「AMOR」のサイトでご覧いただけます。当館はキリスト教に直接かわりのある本を紹介しましたが、本特集は幅広くキリスト教と関係のあるおすすめ本となっています。

おすすめ本の他、多彩な特集や記事が数多く掲載されていますので、ぜひサイトもご覧ください。
<https://webmagazin-amor.jp/>

『なんでもわかるキリスト教大事典』

キリスト教に関する素朴な疑問への解説から、キリスト教のさまざまな教派、教会にまつわるあれこれなどが、豊富なイラストや図解とともに説明されている。目次の見出しも質問形式が多いため、自分が気になる箇所を読むことができるし、もちろん索引もあるので読み物としても事典としても使える。附録の表などを含め、充実した内容ながら驚きの文庫本サイズ(厚さ2cm)。

『早わかりキリスト教』

『キリスト教に関心はあるが専門書を読むところまではまだ...』という読者を意識して「書かれた本のため、内容はキリスト教についての基本的なことから絞られている。キリスト教とはどのような宗教か、聖書、イエス・キリスト、歴史、日本のキリスト教、諸宗教等とのかかわり、儀式や文化、シンボルなど全般を網羅し、一つの質問につき見開きで簡潔に説明されている。索引や用語集、年表もあり、一冊でまとまった内容となっている。

『ここが知りたいキリスト教への25の質問』

キリスト教放送局日本FEBBCの番組「神父さま、こんなこと聞いてもいいですか？」がもとになっている。リスナーからのキリスト教に関する質問や悩みに、著者がパーソナリティと対話しながらさまざまな視点を提示し、寄り添いながら回答してくれる。実際に番組に寄せられた質問や悩みのため、具体的に現実的な質問が多く、自分が抱える疑問や悩みの答えも見つかるかもしれない。

『キリスト教の核心をよむ』

キリスト教の聖典である聖書(旧約・新約)、キリスト教に関する代表的な著作の「読み方を学ぶ」ことを意識して、豊富な聖書等の引用を解説し、読み解きのヒントを教えてくれる。キリスト教に関する代表的な著作ではアウグスティヌスの『告白』、教皇フランシスコや現代のキリスト教思想家たちの著作を扱う。興味を持ったら巻末のブックガイドで次に読む本を探すこともできる。

『聖書の解剖図鑑』

旧約聖書の歴史物語を43個、新約聖書におけるイエスの出来事とイエスにつき従った弟子たちの物語を35個の項目に分け、その概略と特徴やポイントを解説。一項目につき見開きでまとまっており、全ページに美しいイラストが挿入され、理解を助けてくれる。

『喫茶ホーリー』

月刊誌『百万人の福音』で連載されていた漫画の単行本化。おっちょこちょいで食いしん坊なビーグル犬がマスターを務めるお店「喫茶ホーリー」には、さまざまな悩みを抱えた登場人物(すべて動物)たちがやってくる。悩む動物たちにマスターは聖書の言葉を引用して寄り添い、おいしい料理をふるまってくれる。見開きで一つのお話になっているので、気楽に読めるが、意外と深く、愛らしい動物たちに癒される。

『幸せになれる宗教画』

「○○な人へ」(例:自信を取り戻したい人へ)という見出しで一枚のキリスト教絵画を紹介しながら、その絵とキリスト教やイエスについて説明していく。絵の人物に吹き出しがついていたり、イエスをアンパンマンに例えたりとさまざまな方法を用いて、絵の解説だけでなく、生きるヒントを提示してくれる。

『知っておきたい!教会の基本』

建物としての「教会」の魅力に注目し、教会とはなんのためにあるのか、教会(建物)の歴史、教会(聖堂)の内部、教会でのマナーや実際の教会などを紹介。ほかにキリスト教の歴史や聖書などについてもまとめて説明している。実際に教会に行ってみたいけれど不安がある人や、行ったことはあるけれどよくわからなかった人にも「教会ってどんなところ?」というのが具体的にわかる。

『たいせつなきみ Anniversary Edition 新装版』

『たいせつなきみストーリーブック』

1997年に出版され、英語版絵本『You Are Special』は1600万部超え、全世界31言語に翻訳されて読み継がれるロングセラー。へまをするたびに仲間の人形たちから馬鹿にされ、すっかり自信をなくす木の人形パンチネロに、すべての人形の造り主であるエリが語りかける。すべての人に贈る、心を癒すメッセージがつまっている『たいせつなきみ』はカラフルな絵も可愛らしい。『ストーリーブック』は上記の一作目を含む絵本シリーズ全6巻のストーリーを、モノクロの挿絵とともに読み物として味わえる。

今季のおすすめ図書

2024年新着図書の一部をご紹介します。

	タイトル	著者
1	自分の人生に出会うために必要ないくつかのこと	若松英輔
2	探していたのはどこにでもある小さな一つの言葉だった	若松英輔 著 西淑 画
3	滝沢克己の現在	滝沢克己協会編
4	中世哲学の射程	K・リーゼンフーバー
5	存在と思惟	K・リーゼンフーバー
6	道しるべ 古の師父たちにならう	谷隆一郎
7	あなたは、そのままでもいい	鈴木秀子
8	よりよく老いる 92歳のシスターの心豊かに生きるヒント	鈴木秀子
9	宗教と不条理 信仰心はなぜ暴走するのか	佐藤優/本村凌二
10	ルポ 宗教と子ども 見過ごされてきた児童虐待	毎日新聞取材班編
11	宗教・カルト・法 旧統一教会問題と日本社会	島蘭進ほか
12	境界を越える神の救いの計画 宗教間対話の新たな地平へ	カブンディ・オノレ
13	鳥瞰するキリスト教の歴史 宗派・教派と教義の違いがわかる	岩城聡
14	イエスは四度笑った	米田彰男
15	わたしの聖書物語 神さまの大いなる計画	N.T.ライト著,ヘレナ・ペレス・ガルシア画
16	物語としての旧約聖書 人類史に何をもたらしたのか	月本昭男
17	ヨブ記を読もう 苦難から自由へ	並木浩一
18	生涯学習のための「祈り」	百瀬文晃
19	教理講話	新神学者シメオン
20	キリシタン 1622 殉教・列聖・布教聖省 400年目の省察	川村信三/ 清水有子編
21	ジャンヌ・ダルク 預言者・戦士・聖女	ゲルト・クルマイヒ
22	修道士、世界を旅する 東西のスピリチュアリティを生きて	D.シュタインドル ニラスト
23	病と老いと死、とその後の「いのち」	森一弘
24	預言者の言つて かがんで聴いてそっと生きたら	古巣馨
25	平和の種をまく 祈り、抵抗、共同体	ヘンリ・ナウエン
26	イエスさまについてこう	ヘンリー・ナウエン
27	「聖性」から読み解く西欧中世 聖人・聖遺物・聖域	杉崎泰一郎

	タイトル	著者
28	沈黙の中世史 感情史から見るヨーロッパ	後藤里菜
29	神と人と言葉と 評伝・立花隆	武田徹
30	サンティアゴ巡礼紀行	酒井俊弘
31	聖書の同盟 アメリカはなぜユダヤ国家を支援するのか	船津靖
32	中村哲という希望 日本国憲法を施行した男	佐高信/高世仁
33	言問橋の星の下で 北原怜子と蟻の街	澤田愛子
34	死を生きる 訪問診療医がみた709人の生老病死	小堀鷗一郎
35	キリスト教美術をたのしむ 旧約聖書篇	金沢百枝
36	宗教音楽の手引き 皆川達夫セレクション	皆川達夫
37	日本カトリック教会の音楽 明治期から昭和初期まで・宣教師らの軌跡とともに	時津ハインツ/ 大津磨由美
38	世界はラテン語でできている	ラテン語さん
39	ダーチャと日本の強制収容所	望月紀子
40	カテリーナの微笑 レオナルド・ダ・ヴィンチの母	カルロ・ヴェッチェ
	遠藤周作関連	
41	遠藤周作の文学とキリスト教	山根道公
42	遠藤周作とフランソワ・モーリヤック 誘惑と母性	福田耕介
43	遠藤周作おどけと哀しみ わが師・狐狸庵先生との三十年	加藤宗哉
44	遠藤周作短篇集	遠藤周作
45	アラバスケ 遠藤周作初期エッセイ	遠藤周作
	フランシスコ教皇関連	
46	識別 教皇講話集	教皇フランシスコ
47	信頼の道 聖テレーズ生誕一五〇年を記念して 使徒的勧告	教皇フランシスコ
48	希望は欺かない 二〇二五年の通常聖年公布の大勅書	教皇フランシスコ
49	教皇フランシスコ講話集 10	教皇フランシスコ
50	見よ、それはきわめてよかった 総合的なエコロジーへの招き	日本カトリック司教団
51	教皇ヨハネ・パウロ一世講話集	教皇ヨハネ・パウロ一世

聖三木図書館からのお知らせ

最新の情報はホームページ（Facebook）、お電話や留守電メッセージにてご確認ください。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

開館

月～土 11:00～18:00

日 10:00～17:00

休館日 木曜日、国民の祝日、毎月末

※館内カレンダーまたはHPにてご確認ください。

入館時に利用カードを確認します。

「当館所蔵資料の閲覧」以外での閲覧席のご利用は
お断りしております。

貸出

・貸出延長

返却期限内で、予約の入っていない資料に限り、
1回のみ延長できます。（新着図書はできません）
開館時間内にお電話またはカウンターのみで受け
付け、手続きした日から3週間延長します。
※返却日を過ぎると延長はできません。

・返却した資料を続けて借りることはできません

返却処理日の翌日から数えて14日間は、同じ資料
を借りることはできません。

（例）12月1日に返却処理→12月16日貸出可能
利用者が平等に資料を利用する機会を確保するた
め、ご理解とご協力をお願いいたします。

・郵送貸出

お電話またはホームページの郵送貸出フォームか
らお申込みいただけます。発送は着払いのみです。

返却

開館中：カウンター 閉館中：1F 返却ポスト

※郵送・宅配での返却も可

問い合わせ

お電話またはホームページの問い合わせフォームよ
り受け付けています。

資料の所蔵確認、調べている事柄に関連する資料の紹
介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。
質問内容によっては回答までにお時間を頂戴する場
合やお答えできない内容もございますので、ご了承く
ださい。

資料の所蔵確認は、館内検索機・蔵書検索サイト
（OPAC）にて検索が可能です。サイトはホームペー
ジからご覧いただけますのでご利用ください。

利用カードの申込・更新

当館は会員制の専門図書館のため、入館・ご利用には
会員登録が必要です。

「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規
登録及び更新手続きは、開館時間内に館内カウンタ
ーで、または来館せずに行うこともできます。

来館せずに登録をご希望の方は、ホームページの「利
用登録」をご確認の上、新規会員登録フォームをご入
力いただくか、お電話にてお問い合わせください。

【年会費】 表示価格はすべて税込です。

一般会員 3,000円

賛助会員 5,000円・10,000円

※一般会員年会費を超える金額は寄付として申し受けます

【一日利用】

一日利用料 500円（貸出不可）

当日のみ、当館所蔵資料の閲覧が可能

登録の際、免許証・保険証など（学生の方は学生証）
をご提示いただきます。

利用カード紛失やお忘れの場合は100円（税込）の
再発行手数料をいただきます。

上記会員区分以外に、イエズス会員、カトリックの司祭・修
道者・神学生の会員区分は継続いたします。

※2024年4月より会費価格を改定いたしました。

聖三木図書館報『みき』第17号

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麹町 6-5-1 岐部ホール 2F

TEL: 03-3262-0364

ホームページ:

http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/

題字: Sr. 北爪悦子(師イエズス修道女会)